

文部科学省のコンテンツ

私立大学等改革総合支援事業

[※選定結果はこちらから](#)

平成 27 年度予算額：予算額：201 億円（経常費 144 億円、活性化設備費 46 億円、施設・装置費 11 億円）

1. 事業趣旨

教育の質的転換、地域発展、産業界・他大学等との連携、グローバル化などの改革に全学的・組織的に取り組む私立大学等に対する支援を強化するため、経常費・設備費・施設費を一体として重点的に支援します。

2. 支援対象校の選定

以下タイプごとに「私立大学等改革総合支援事業 調査票」で、各大学の取組状況を問う設問を設定し、これらの回答を点数化したうえで、「私立大学等改革総合支援事業委員会」の審議を踏まえ選定する仕組みとしており、今年度は延べ計 1,684 校（実数計 746 校）から申請を受け、延べ計 626 校（実数計 421 校）を選定。

■タイプ1「教育の質的転換」…300 大学等

全学的な体制での教育の質的転換（学生の主体的な学修の充実等）を支援。

<評価する取組（例）>

- 全学的教学マネジメント体制の構築
- シラバスの改善（主体的な学修を促す教育課程の編成）
- 学生の学習時間等の把握と充実
- 学生による授業評価結果の活用
- 履修系統図・ナンバリング・CAP 制・学長裁量経費等の実施
- 外部組織と連携した Project-Based Learning（例：新商品の企画・プレゼン）の実施等
- 能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価する入学者選抜の実施 等

■タイプ2「地域発展」…150 大学等

地域社会貢献、社会人受入れ、生涯学習機能の強化等を支援。

<評価する取組（例）>

- 自治体との包括連携協定の締結
- 全学的地域連携センターの設置
- 地域社会と連携した地域課題解決のための教育プログラム
- 地域の学校等への教育支援・子育て支援
- 社会人の受入れ（正規課程、履修証明プログラム、科目等履修生）
- 自治体や地元産業界等のニーズを踏まえた社会人教育プログラムの策定等

■タイプ3「産業界・他大学等との連携」…75 大学等

産業界や国内の他大学等と連携した高度な教育研究を支援。

<評価する取組（例）>

- | | |
|-----------------|--|
| 産業界との連携 | <ul style="list-style-type: none">○教育面を含む産学連携体制の構築○企業等との教育プログラムの共同策定・実施○長期インターンシップ |
| 他大学等との連携 | <ul style="list-style-type: none">○交流協定に基づく単位互換の実施・交流実績○教育プログラムの共同開発、共同研究、共同 FD・SD 等 |

■タイプ4「グローバル化」…75 大学等

語学教育強化、国際環境整備、地域の国際化など、多様なグローバル化を支援。

<必須要件>

- グローバル化対応ポリシーの策定

<評価する取組（例）>

- 実践的な語学教育
- 教員の英語力強化
- 海外インターンシップ
- 海外大学等との交流協定（単位互換・ダブルディグリー）
- 外国人教員・学生の比率（留学生は出身国の多様性を考慮）
- 地域のグローバル化への貢献（例：留学生と地域の交流） 等

大学教育改革の支援について

大学教育再生戦略推進費は、教育再生実行会議や中央教育審議会等で提言された政策課題に特化した誘導型の補助金であり、

1. 革新的・先導的な教育研究プログラムの開発、
2. 卓越した教育研究拠点の形成を促進する。

----- 国公立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進 -----

1. 大学教育再生の戦略的推進

(1) 世界をリードする教育拠点の形成

◆博士課程教育リーディングプログラム

平成 27 年度予算額：178 億円（平成 26 年度予算額：185 億円）

俯瞰力と独創力を備え、広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーを養成するため、産学官の参画を得つつ、博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを実施する「リーディング大学院」の構築を支援する。

◆スーパーグローバル大学等事業

平成 27 年度予算額：87 億円（平成 26 年度予算額：99 億円）

我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現・加速するための人事・教務システムの改革など国際化を徹底して進める大学や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化を進める大学を支援する。

◆大学の世界展開力強化事業

平成 27 年度予算額：24 億円（平成 26 年度予算額：28 億円）

大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った学生交流の実施等を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援する。

◆情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業

平成 27 年度予算額：4 億円（平成 26 年度予算額：5 億円）

情報技術を活用して社会の具体的な課題を解決できる人材を育成するため、大学や産業界による全国的なネットワークを形成し、実際の課題に基づく課題解決型学習等の実践的な教育を推進。

(2) 革新的・先導的教育研究プログラムの開発推進

◆地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

平成 27 年度予算額：44 億円

若年層の東京一極集中を解消するため、個別大学への支援から全学的に地域を志向する大学群、自治体、地域の中小企業等との連携を必須とし、地域を担う人材を育成するための教育改革の実行等により、それぞれの地域の実情に応じた雇用創出や学卒者の地元定着率向上に向けた取組への支援に転換することで、地（知）の拠点に大学による地方創生を推進する。

◆大学教育再生加速プログラム（AP）

平成 27 年度予算額：12 億円（平成 26 年度予算額：10 億円）

これまでの大学教育改革の成果をベースとして、教育再生実行会議等で示された方向性（アクティブ・ラーニング、学修成果の可視化、入試改革・高大接続）に合致した先進的な取組に加え、新たに長期学外学修プログラムを実施する大学を支援することで、国として進めるべき大学教育改革を一層推進する。

◆[大学間連携共同教育推進事業](#)

平成 27 年度予算額：22 億円（平成 26 年度予算額：24 億円）

国公私の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学等が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムを構築する取組を支援する。

◆[大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業](#)

平成 27 年度予算額：10 億円（平成 26 年度予算額：11 億円）

被災地の大学等を中心として、地域復興センター的機能を整備し、災害医療教育、地域産業再生、復興の担い手の育成などを支援する。

◆[産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業](#)

産業界のニーズに対応した人材育成の取組を行う大学・短期大学が地域ごとにグループを作り、地元の企業、経済団体や地域の団体等と産学協働のための連携会議を形成し、地域の産業界と一体となった人材育成や産業界の大学に対するニーズを踏まえた取組を支援。

◆[高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム](#)

大学院と産業界等が協働して、社会人のキャリアアップに必要な高度かつ専門的な知識・技術・技能を身につけるための大学院プログラムを構築し普及する取組を支援。

2. 高度医療人材の養成と大学病院の機能強化

（１）先進的医療イノベーション人材養成事業

◆[未来医療研究人材養成拠点形成事業](#)

平成 27 年度予算額：16 億円（平成 26 年度予算額：20 億円）

世界の医療水準の向上及び日本の医療産業の活性化に貢献するため「メディカル・イノベーション推進人材」を養成。また、将来の超高齢化社会における地域包括ケアシステムに対応するため「リサーチマインドを持った総合診療医」を養成。

◆[がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン](#)

平成 27 年度予算額：16 億円（平成 26 年度予算額：19 億円）

複数の大学がそれぞれの個性や特色、得意分野を活かしながら相互に連携・補完して教育を活性化し、がん専門医療人材養成のための拠点を構築

（２）大学・大学院及び付属病院における人材養成機能強化事業

◆[課題解決型高度医療人材養成推進プログラム](#)

平成 27 年度予算額：8 億円（平成 26 年度予算額：10 億円）

高度な教育力・技術力を有する大学が核となって、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供でき、健康長寿社会の実現に寄与できる優れた医師・歯科医師・看護師・薬剤師等を養成するための教育プログラムを実践・展開する大学の優れた取組を支援。

◆[基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成](#)

平成 27 年度予算額：2 億円（平成 26 年度予算額：3 億円）

基礎研究医を養成する取組、国際標準を満たした診療参加型臨床実習の充実に図る取組、医学・歯学教育認証制度等の実施を支援。

◆[専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業](#)

平成 27 年度予算額：0.1 億円（平成 26 年度予算額：0.3 億円）

チーム医療の推進に資する高度な看護師・薬剤師等の養成を行う大学の取組を支援。